境界を超えて皆で共に歩んだ
私たちの3年間におめでとう！
경계를 넘어 함께 걸어온
우리의 모든 날들, 3주년을 축하해!

令和６（2024）年 12 月 25 日

報道関係各位

筑波大学令和６年度日韓青少年対話型交流事業委員会
日韓次世代交流団

# 「日韓次世代交流団」が発足、活動開始

本学の日韓交流事業を修了した学生による持続的な交流等を目的とした同窓組織

筑波大学 令和６年度日韓青少年対話型交流事業委員会（所在地：茨城県つくば市、事業運営責任者：竇積 應公、以下、「弊事業委員会」）は、本日、本学が創基１５１年筑波大学開学 50 周年記念冠事業として令和 5 年度及び令和６年度開催した「日韓みらいファクトリーアワード２０２３」及び「日韓みらいファクトリフォーラム２０２４」、並びに本学事業の前身となる「日韓高校生文化 PR アワード 2022 Presented by 三養ジャパン」に参加し、修了した学生たちによって、その同窓組織となる「日韓次世代交流団」が設立され、活動を開始したことを発表いたします。

【Web ページ】https://miraefactory.jp/alumni/

令和 5 年度及び 6 年度のプログラムの様子

## 設立の背景

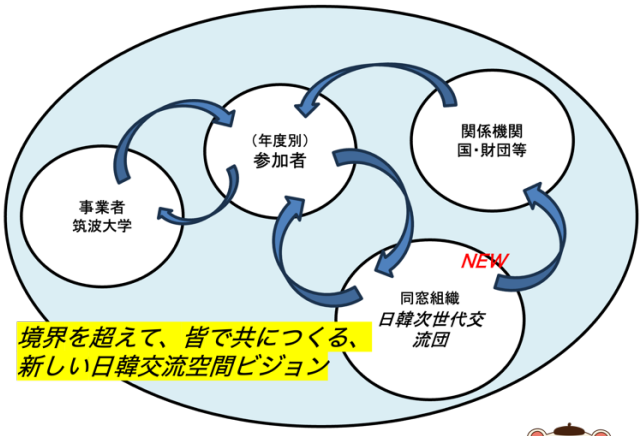
弊事業委員会はこれまで約３年間（本学事業の前身となる「日韓高校生文化 PR アワード２０２２」を含む）にわたって「日韓の未来を担うグローバル人財を育成し、持続可能な両国交流の発展に貢献する」ことを目的とし PBL 型の異文化コミュニケーション「探求型国際交流プログラム」展開してきました。私たちの目指す人財育成像は「日韓の文化を理解し双方の文化、例えば新しい価値観や考え方に対応することができる人財」であります。

これまで、年度別にプログラムが完結してしまっていたため、参加した学生たちが中長期的に関わりあいことができないという点が課題でありました。しかし、今回の「日韓次世代交流団」の設立により、今後将来の日韓関係を担うであろう日本・韓国全国から集まった同窓生たちが、参加年度を超えて交流を深めることで、同窓生と関係機関等が所属や世代の枠を超えてコミュニケーション・流動することが可能になり、社会に新たな価値を創出し、この空間が持続可能に発展していくことを期待しています。

境界を超えて皆で共に歩んだ
私たちの3年間におめでとう！
경계를 넘어 함께 걸어온
우리의 모든 날들, 3주년을 축하해!

## 「境界を超えて皆でともにつくる、新しい日韓交流空間」ビジョン

この度、発足する「日韓次世代交流団」は過去 3 年のプログラム修了生約 250 人による大型組織の誕生となり、弊事業委員会の掲げる「境界を超えて皆でともにつくる、新しい日韓交流空間」ビジョンにおける新たなパートナーとして加わります。弊事業委員会は、令和 7(2025)年の日韓国交正常化 60 周年に向けて、既存プログラムの企画・運営にとどまらず、地域や社会全体に貢献するための取り組みを積極的に推進し、包括的な産官学連携の実現に取り組んでまいります。（了）




＜包括的なビジョン達成に向けたのあるべき姿＞

## 代表あいさつ

初めまして。日韓次世代交流団 代表の金澤 愛奈と申します。私は、令和 6 年度「日韓みらいファクトリーフォーラム」に参加いたしました。プログラム参加後もっと心からのコミュニケーションをしたいという想いが芽生えたことから、現在韓国語を学んでおります。日韓交流プログラムにて日韓各地からの素敵な仲間に出会えたことは本当に貴重な経験ですので、同窓会事業では折角ご縁あって集った仲間が再度集まれるきっかけ作りをしていければと思っております。また、ただ同窓会を行うだけでなく、将来的には日韓交流に関心のある人が新しいことに挑戦できる場として、より多くの方々を巻き込んでいけるよう取り組んでまいります。
皆さまも是非私たちと共に新しい日韓交流に挑戦してみませんか。

日韓次世代交流団 代表 金澤 愛奈（千葉大学 / 令和 6 年度プログラム修了）

＜本件取材に関するお問い合わせ先＞
筑波大学日韓青少年対話型交流事業事務局 同窓事業担当
[E-mail] office+alumni [at]miraefactory.jp ([at]を@に置き換えてください)
＜本件取材に関するお問い合わせ先＞
筑波大学日韓青少年対話型交流事業事務局 公募広報担当
[E-mail] press.office_jkep[at]u.tsukuba.ac.jp ([at]を@に置き換えてください)